

# 医信の現況 2020

(2020年9月中間期)



静岡県医師信用組合は、

医業に従事する医師の先生方の経営およびライフスタイルのお手伝いをする

静岡県医師会に関連する医師専門の金融機関です。


<私たちの行動宣言>

- ・医師専門の相互扶助の精神を基本とし、公共的使命の重みを常に自覚し、健全な業務運営の遂行を通して揺るぎない信頼の確立を図ります！
- ・創意・工夫を活かして医師の先生方のニーズに応え、医業に携わる組合員およびご家族の皆様の経営ならびに生活の健全な発展に貢献します！
- ・上記を通じ地域住民の医療および健康管理に貢献します！

We, for Doctor, for Regional healthcare –シンフォニーのように。

## 静岡県医師信用組合

〒420-0839 静岡市葵区鷹匠3-6-3 静岡県医師会館2階

TEL 054-246-7740 FAX 054-247-3350  0120-144-493

ホームページ <https://www.shizuokaishin.co.jp/>

Email [ishin-bk@po2.across.or.jp](mailto:ishin-bk@po2.across.or.jp)

## ごあいさつ

組合員の皆様には、平素より当組合の運営につきまして、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、令和2年度上半期（令和2年4月～令和2年9月）における当組合の経営情報をとりまとめました。お取引の参考にさせていただければ幸いです。今後も皆様方のお役に立つ組合として、役職員一丸となって努力する所存でございますので、一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 主要勘定について

＜当半期の概況＞（残高、自己資本比率は令和2年9月末時点計数です）

- 預金積金：622億9千9百万円で年間3億円の減少となりました（年間伸び率▲0.48%）。
- 貸出金：199億9百万円で年間3億2千1百万円の増加となりました（年間伸び率1.64%）。
- 有価証券：422億1千1百万円で年間1千8百万円の増加となりました（年間伸び率0.04%）。
- 経常利益：当半期計上額は1億8百万円で前中間期比1千3百万円の減少となりました。
- コア業務純益：当半期計上額は1億1千3百万円で前中間期比2千6百万円の減少となりました。
- 自己資本比率：21.06%となり国内基準（4%）を大幅に上回る高い健全性を維持しております。

＜当半期の概況＞

（単位：千円）

	①平成30年9月末	②令和1年9月末	③令和2年9月末	増減(③-②)
預金積金残高	62,491,894	62,599,519	62,299,306	-300,213
貸出金残高	19,122,760	19,588,569	19,909,873	+321,304
有価証券残高	40,776,605	42,192,706	42,211,271	+18,565
経常収益	298,113	286,063	271,240	-14,823
経常費用	181,631	164,716	162,817	-1,899
経常利益	116,482	121,347	108,423	-12,924
コア業務純益	125,970	138,454	113,013	-25,441
自己資本比率(%)	22.74%	21.90%	21.06%	-0.84%
組合員数(人)	2,585	2,585	2,614	+29

## 社会的責任と地域貢献活動（地域密着型金融）の取組について

当組合の地域密着型金融の取組についてご報告申し上げます。

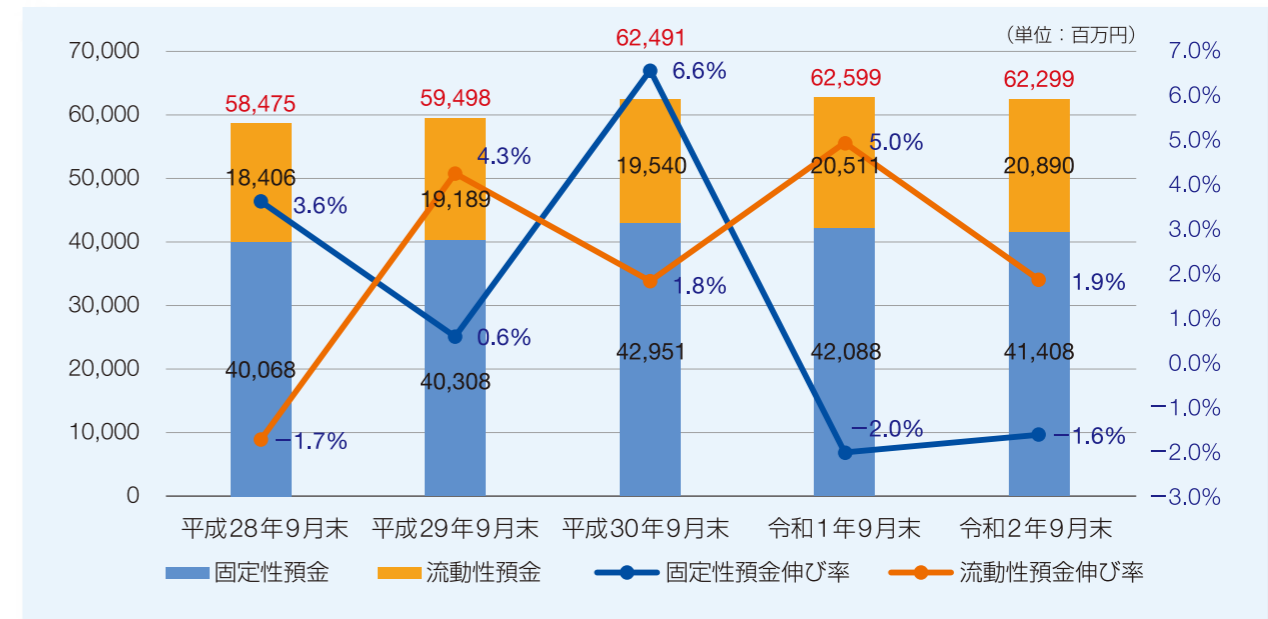
### 1. 当組合の基本理念

協同組織の金融機関として、相互扶助の精神に基づき、金融面を通して組合員の皆様の医業経営に関する事業の発展に役立つと共に、地域住民の医療および健康管理に貢献することを理念としております。融資、文化・社会貢献活動面から組合員の皆様のお役に立つよう努めてまいります。

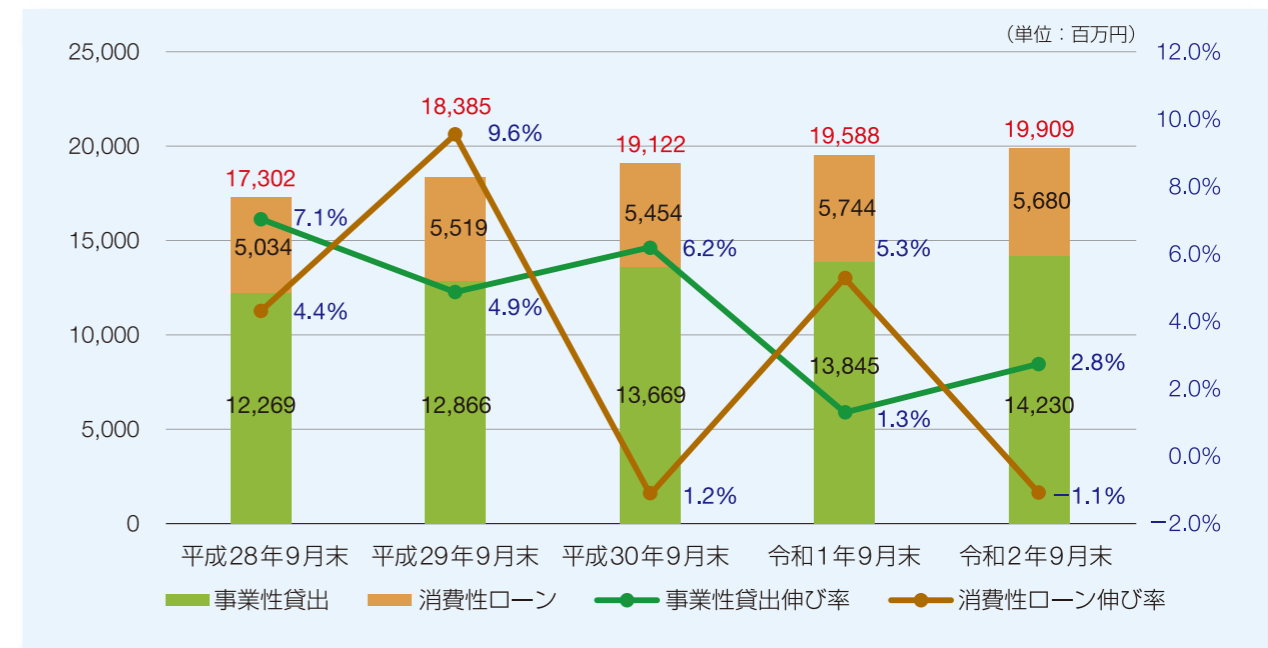
### 2. 医業経営支援

- ① 取組方針：組合員の皆様の経営課題などには経営実態を把握する中でご相談に誠実に対応してまいります。
- ② 態勢整備：組合員の皆様に税理士や弁護士などの専門家から最善のアドバイスを提供できるよう担当者を配置しております。
- ③ 取組状況：医業の特性を踏まえた円滑な資金供給に努め、貸付条件の変更など組合員の皆様のご要望に適切に対応するよう取り組んでおります。また、地域医療を堅持するための大きな課題となる医業承継のご支援等にも積極的に取り組んでおります。

## ○ 預金積金の残高推移



## ○ 貸出金の残高推移（事業性貸出・消費性ローン（住宅ローン他））



### 3. 融資を通じた貢献

組合員の皆様のための組合であることを第一に融資を推進しております。

- ① お申し出にはすぐに結論を出し、迅速な手続きに努めます。
- ② 融資利率はできるだけ低くし、組合員の皆様への収益還元を努めます。
- ③ 健全経営に努め、組合員の皆様の一層の信頼が得られるよう努めます。

### 4. 組合融資の現状 (単位：百万円、%)

(1) 資金使途別融資額推移

資金使途	令和1年9月末			令和2年9月末		
	利用者数	融資額	構成比	利用者数	融資額	構成比
設備資金		16,757	85.5%		16,871	84.7%
運転資金		2,831	14.4%		3,038	15.3%
合計	453	19,588	100.0%	455	19,909	100.0%

(2) 消費者ローン・住宅ローン融資額推移

	令和1年9月末		令和2年9月末	
	融資額	構成比	融資額	構成比
消費者ローン	777	13.5%	757	13.3%
住宅ローン	4,966	86.4%	4,923	86.7%
合計	5,744	100.0%	5,680	100.0%

## 中間決算の状況

### 貸借対照表

(単位：千円)

資産	金額	負債及び純資産	金額
現金	9,641	預金積金	62,299,306
預け金	15,773,436	普通預金	20,879,818
有価証券	42,211,271	定期預金	40,398,993
国債	7,414,582	定期積金	1,009,350
地方債	3,791,037	その他の預金	11,144
社債	25,671,742	当座借越	6,800,000
株式	200	その他負債	97,438
その他の証券	5,333,710	未払費用	28,827
投資信託	294,800	給付補填備金	3,214
外国証券	5,038,910	未払法人税等	31,529
貸出金	19,909,873	前受収益	12,258
手形貸付	827,620	職員預り金	19,416
証書貸付	19,082,253	その他の負債	2,192
その他の資産	126,609	賞与引当金	6,618
全信組連出資金	38,000	役員賞与引当金	1,800
未収収益	78,963	退職給付引当金	18,669
仮払金	1,699	役員退職慰労引当金	16,100
その他の資産	7,946	繰延税金負債	237,373
有形固定資産	37,928	債務保証	300,776
建物	12,923	負債計	69,778,083
その他の有形固定資産	25,004	出資金	28,030
無形固定資産	99,758	普通出資金	28,030
ソフトウェア	467	利益剰余金	7,915,089
その他の無形固定資産	99,290	利益準備金	31,680
繰延税金資産		その他利益剰余金	7,883,409
債務保証見返	300,776	特別積立金	7,748,050
貸倒引当金	△ 62,620	(うち目的積立金)	0
(うち個別貸倒引当金)	0	当期末処分剰余金	135,359
		(当期純利益)	69,806
		組合員勘定計	7,943,119
		その他有価証券評価差額損	685,471
		評価・換算差額等合計	685,471
		純資産	8,628,591
合計	78,406,674	合計	78,406,674

記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

### 有価証券の時価情報

満期保有目的の債券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	貸借対照表計上額 (償却後、時価評価前)	時価	差額	うち益	うち損
国債	297	308	10	10	—
地方債	876	878	1	1	—
社債	99	100	0	0	—
その他	—	—	—	—	—
合計	1,274	1,286	12	12	—

なお、その他保有有価証券の評価差額942百万円から繰延税金負債257百万円(繰延税金資産相殺前)を差し引いた額685百万円が、「その他有価証券評価差額金」に計上されております。

### 損益計算書

(単位：千円)

科目	金額	科目	金額
経常収益	271,240	経費	126,089
資金運用収益	266,999	人件費	76,157
貸出金利息	75,846	物件費	49,677
預け金利息	7,504	税金	254
有価証券利息配当金	181,950	経常利益	108,423
その他の受入利息	1,697	特別損失	12,182
役務取引等収益	3,743	固定資産処分損	12,182
受入為替手数料	413	税引前当期純利益	96,241
その他の役務収益	3,329	法人税、住民税及び事業税	23,774
その他業務収益	496	法人税等調整額	2,660
国債等債券償還益	416	法人税等合計	26,434
その他の業務収益	80	当期純利益金	69,806
その他経常収益	0	繰越金(当期首残高)	65,553
貸倒引当金戻入益	0	当期末処分剰余金	135,359
(内個別貸倒引当金戻入益)			
経常費用	162,817		
資金調達費用	21,840		
預金利息	20,812		
給付補填備金繰入額	982		
その他の支払利息	45		
役務取引等費用	5,432		
支払為替手数料	858		
その他の支払手数料	4,574		
その他業務費用	9,454		
国債等売却損			
国債等債券償還損	65		
貸倒引当金繰入	241		
雑損	9,147		

### 主な収益指標

(単位：千円、%)

業務粗利益	234,754	実質業務純益	113,365
業務粗利益率	0.61%	コア業務純益	113,013
業務純益	113,123	コア業務純益(※)	113,013

(※) 投資信託解約損益を除く

その他保有有価証券で時価のあるもの

(単位：百万円)

	取得価額 (償却後、時価評価前)	貸借対照表計上額 (時価)	評価差額	うち益	うち損
株式	0	0	0	0	—
債券	39,993	40,936	942	1,133	190
国債	6,826	7,116	290	301	11
地方債	2,838	2,914	75	75	—
社債	24,916	25,571	655	719	63
その他	5,412	5,333	-78	37	115
合計	39,993	40,936	942	1,133	190

## 財務内容のご説明

### 金融再生法上の開示債権

(単位：千円、%)

区分		債券額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金引当率 (C)/(A-B)
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	令和1年9月末	—	—	—	—	—	—
	令和2年9月末	—	—	—	—	—	—
危険債権	令和1年9月末	—	—	—	—	—	—
	令和2年9月末	—	—	—	—	—	—
要管理債権	令和1年9月末	—	—	—	—	—	—
	令和2年9月末	—	—	—	—	—	—
不良債権計	令和1年9月末	—	—	—	—	—	—
	令和2年9月末	—	—	—	—	—	—
正常債権	令和1年9月末	19,857,737					
	令和2年9月末	20,210,649					
合計	令和1年9月末	19,857,737					
	令和2年9月末	20,210,649					

(注) 金融再生法における開示債権は、貸借対照表の貸出金及びその他資産中の未収利息及び仮払金並びに債務保証見返について、債務者の財政状態及び経営成績等を基礎として次のように区分します。

- 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
- 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
- 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

### 自己資本比率(新BIS基準)

(単位：%)

	令和2年9月末	(参考)令和2年3月末
自己資本比率	21.06%	21.37%

(注) 令和2年9月末、当組合は「その他有価証券の評価差損」はありません。

### 銀行勘定における金利リスク

(単位：百万円)

IRRB: 銀行勘定における金利リスク					
項番		△EVE		△NII	
		令和2年9月末	令和2年3月末	令和2年9月末	令和2年3月末
1	上方パラレルシフト	2,870	2,481	50	41
2	下方パラレルシフト	0	0	141	123
3	スティープ化	2,446	2,308		
4	フラット化				
5	短期金利上昇				
6	短期金利低下				
7	最大値	2,870	2,481	141	123
8	自己資本の額	7,933	7,854	7,933	7,854

### 預金積金・貸出金の状況(業種別の状況)

(単位：百万円、%)

区分	令和2年9月末残高(構成比)	(参考)令和2年3月末残高(構成比)
預金積金残高	62,299	61,848
貸出金残高	19,909 : (100.0%)	19,502 : (100.0%)
(業種別内訳)	医療・福祉	18,288 : (91.8%)
	個人(※)	1,620 : (8.1%)
	1,442 : (7.3%)	

(※) 個人は勤務医に対する消費者ローン・住宅ローンです。

## ～医信の歩み～



1968年(昭和43年)開業当時の静岡県医師会館(静岡市追手町)

「～1961年(昭和36年)に発足した「国民皆保険制度」により、国民の誰もが一定の自己負担で必要な医療を受けられる時代が到来しました。これに伴い、医療ニーズが急増するとともに、医業の経営形態に大きな変革がもたらされることとなりました。

医師の経営は、保険収入に依存せざるを得ない一方で、医療法による医療施設の更新、拡充、改善等、医学医療の進歩に適應する措置を講じることが求められました。

しかしながら、当時の診療所等医療機関にとって市中金融機関から融資を受けることは、医業の非営利性、不採算性、返済が長期にわたるための金利負担や後継者の問題等から、困難な状況にありました。

こうした中、1960年(昭和35年)に医療金融公庫が設立されましたが、厳格な基準設定とともに地方の代行機関を通じてなされる手続きに円滑さを欠く等の不便があったことから、いよいよもって医師会に私的医療機関専門の金融機関設置の要望が提起されるに至りました」

(「静岡県医師信用組合50年の歩み」より抜粋)

## 創業の想いを大切に！ 原点回帰！

医業に携わる先生方をサポートする信頼のパートナー。

安全・有利に  
お預りします！  
**預金業務**

定期預金

定期積金

普通預金

事業計画やライフプラン  
に応じた必要資金を迅速  
にサポートします！  
**融資業務**

コロナ対応  
融資

新規開業  
ローン

診療所  
ローン

住宅  
ローン

教育  
ローン

自動車  
ローン

先生方の課題解決を  
お手伝いします！  
**相談業務**

医業  
承継

遺言  
信託

必要な資金移動を  
手軽におこないます！  
**内国為替業務(振込)  
預金口座振替業務**

We, for Doctor, for Regional healthcare –シンフォニーのように。

# 静岡県医師信用組合



0120-144-493

Email [ishin-bk@po2.across.or.jp](mailto:ishin-bk@po2.across.or.jp)

ホームページ

<https://www.shizuokaishin.co.jp/>

静岡医信

検索



(HPをご覧ください)